

実践例「学校・学級経営の深化・充実」

「課題1 確かな経営理念の確立と、家庭や地域と連携した確かな学びを創る

特色ある教育課程の創造と深化」

第1分野『学校・学級経営の深化・充実』における実践のまとめ

I 研究の目標と課題及び推進事項

分野別研究の円滑な推進のため、本分野の目標、課題等を以下のように設定した。

目 標	○ 学校と家庭・地域が連携し、一体となって児童生徒に確かな学力と豊かな人間性を育む学校・学級経営の創造
--------	---

【課題1】 確かな経営理念の確立と、家庭や地域と連携した確かな学びを創る特色ある教育課程の創造と推進

研究の 視点	(1)学校の教育目標の達成に向け、児童生徒の確かな学びを創る経営の創造と推進 (2)へき地三特性を生かし、地域に根差した特色ある教育課程の創造と推進 (3)児童生徒一人一人の個性や能力を生かし、多様な体験を重視した教育活動の充実
研究 内容	特色ある学校・学級経営、言語活動・伝統的な文化に関する教育、9年間を見通した教育計画、コミュニティ・スクール、学校評価、合同学習・集合学習・交流学习、地域人材の活用、社会に開かれた教育課程、地域学校協働活動

II 学校名 北斗市立島川小学校【渡島管内】

III 研究の概要

<研究主題・学校として焦点化した課題>

《研究主題》 『主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善』 ～国語科における「読む」領域を中心にして～
《学校として焦点化した課題》 ☆ふるさと学習「農業体験」活動の充実と推進 【 1分野 】



<家庭や地域の実態を踏まえ、児童を変容させるための学校としての取組>

研究 内容	概 要	【1分野】地域の教育力を活用した教育活動「農業体験活動」の充実。
	取 組 の 方 法	【1】年間を通じた親子農業体験活動の場をCS連携によって実現し、外部講師の協力により多面的に推進する。 【2】ICTの積極的な活用、個に応じた指導の工夫を目指した国語科の授業改善を行う。
変 容 の 姿	取 組 の 中	【1】保護者や地域の方とともに田植えや稲刈り・畑作業の体験に取り組み、自分たちが育てた作物についてその特長や料理方法などを調べ、堂々と発表する姿が見られた。

	他の 場 面 で	【1】身近な地域の自然や小動物を愛護する姿が見られ、SDGsの学びにつながっている。 地域のふるさと検定に積極的に取り組む姿が見られた。
今 後 の 課 題	※校区在住児童数の減少、特別支援学級児童の比率の増大などの実態に応じ、これまで推進してきた教育活動のねらいが実現される持続可能な手段の検討が必要である。 ※「一人学年」が増え、同学年での協働的な学びが困難な学年が複数あるため、異学年との学びなど協働的な学びの場を意識的に設定することが必要である。	

IV 渡島複式教育研究連盟の学校経営の深化・充実における成果と課題

渡島の各校実践の第1分野に関わる内容から、次のような成果と課題を読み取ることができた。

(1) 課題1にかかわる研究推進について

課題1『特色ある教育課程』に関わる研究課題としては、小規模の特性を生かした教育課程づくり（一人一人の思考力・判断力・表現力を育む）や、小規模の課題解消のための体制づくり（近隣校とのオンライン道德授業）、地域協働による教育課程づくりなどが挙げられている。

小規模であるがゆえに可能である教師と児童間、児童間の細やかな関わりを生かした取り組みが、「表現力の育成」「協力し認め合う関係」等で成果を上げ、それが他教科での主体的な姿勢の向上にもつながっている。一方で、小規模化に伴う協働的な学びの場の減少が課題として挙げられている。

その課題に呼応した取組として、小規模校同士・近隣校でのオンライン交流の推進が挙げられている。八雲での「オンライン道德授業」など、授業進度等の調整がしやすい内容から協働的な学びの場づくりの取り組みが進んでいる。

児童数の減少が多くの小規模校で課題となっているが、小規模の課題解決とともに、小規模の利点を生かした取り組みの両面から各校とも経営の充実に取り組んでいる。

(2) まとめ

各校の実践は様々だが、古くから地域に伝わる伝統や産業・自然などの地域資源と、学校の新たな教育資源であるICT機器等を効果的に活用しながら、学校と地域、学校間の人と人のつながりを生み出すことで、自校ならではの教育課程を組み立て、経営の充実に取り組まれている。

今後に向けて、これまでの蓄積の更なる深化を目指す一方で、その取組が持続可能となるよう、児童数減少等の課題への対応が求められている。

渡復の研究活動による複式校間の情報共有が、対応の糸口となればと願う。